



概要

GPC-2000 は、Windows 上から、弊社デジタル入出力ボードの制御を行うためのソフトウェアです。弊社デジタル入出力ボードを Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより制御します。インストールしてすぐ使えるユーティリティのほか、動作不具合時の原因を容易に判断するための自己診断機能、各言語によるサンプルプログラムが付属しています。

特長

- 階層化ドライバと各種統一、共通化により、DLL レベルでボード型式を意識する必要がありません。(ボード固有機能は除く)。
- BYTE、WORD、DWORD 単位の入出力ができます。
- 任意の接点数での入出力ができます。
- STB/ACK 制御信号を使用したハンドシェイク入出力ができます。
- ボードからの割り込み発生時およびインターバルタイマにて、ユ-ザアプリケーションにイベントを通知できます。
- 最小 3 μ s(型式により仕様が異なります。)のパルス出力(PULS.OUT1、PULS.OUT2)を行うことができます。
- 機能や使い方を説明するオンラインヘルプ(Help.htm)をサポートしていますので、開発中に関数の詳細説明など、簡単に参照することができます。
- W.D.T.のタイムアウトを検出します。タイムアウトの間隔はソフトウェアで設定できます。
- エラー発生時にブザーを発音させることができます。発音の有効、無効、停止方法をソフトウェアで設定できます。
- エラー発生時にデジタル出力信号を出力させることができます。出力の有効、無効、出力させるピン番号をソフトウェアで設定できます。
- 異常発生時(ウォッチドッグタイマエラー)、トグルスイッチ入力(OFF→ON)時にユーザ定義関数が呼び出すことができます。

対応 OS

Windows11 x64
Windows Server 2019 64bit
Windows Server 2016 64bit
Windows 10 IoT Enterprise x64
Windows 10 x64

対応言語

Microsoft Visual C++ 2015
Microsoft Visual C# 2015
Microsoft Visual Basic 2015

注意事項

—